

書名		新編 新しい社会 地図	2 東書
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなって多面的・多角的な見方や考え方を養う工夫がなされている。</p> <p>○基本図ページやテーマ別の資料ページの随所に「ジャンプ」ボタンが付されており、相互に関連するページにリンクできるようになっており、多面的・多角的に考察するような構成になっている。</p>		
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「この地図帳の地図記号」ページが巻頭に設けられており、読図の基礎的な技能を身に付けられるようになっている。</p> <p>○世界の一般図は、ユーラシア大陸から順に西方向へ並べ、随所に大きく大陸・海洋をおさえる地図を掲載し、地球の姿の中で捉えさせる工夫が見られる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○基本図の縮尺標記の側に「注目したい記号」を示すことで、その地域の地理的特色に気づかせ、思考力や判断力を養う工夫を見ることができる。</p> <p>○歴史的な結び付きが強いヨーロッパ・アフリカを同じ一般図に掲載するなど、地域的なつながりを重視したさまざまな範囲の一般図を掲載し、地理だけでなく、歴史や公民の学習にも活用できるように構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○ご当地キャラクターや、オリンピック・サッカーワールドカップの開催国など、生徒の興味・関心を高める資料を取り上げ、学習に取り組む意欲や態度が高まるように配慮されている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○災害や環境といった今日的な課題を扱った特集ページを設けたり、北方領土や竹島や尖閣諸島といった実社会における領土問題を写真付きで基本図ページに掲載するなど、実践的な地理的認識を養う配慮が見られる。</p>	
	資 料	<p>○日本との結び付きが特に強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、データを基にした鳥瞰図（海底地形を含む）を見開きで掲載し、生徒が地形のイメージを捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○日本の拡大図（地方別地図）は、八地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。</p>	
	表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性がある生徒にした色使い（淡い色）やデザインを採用している。</p> <p>○基本図は等高段彩で表現され、地名や記号がはっきり目立つように工夫されている。</p>	
総 括	<p>○地図中の文字を縁取りしたり、色づかいが優しく淡い色で統一したりと、色覚特性をもつ生徒を含め、判別しやすいよう工夫されている。</p> <p>○基本図ページやテーマ別の資料ページの随所に「ジャンプ」ボタンが付され、相互に関連するページにリンクできるようになっており、多面的・多角的に考察できるような構成になっている。</p>		

書名 項目	中学校社会科地図 46 帝国
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかり	○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなって多面的・多角的な見方や考え方を養う工夫がなされている。 ○随所にテーマ別の資料やグラフなどをまとめた「ながめてみよう」が配置され、「地図をみる目」では、地図を通して地理的な見方や考え方を身に付けるようになっている。
特 色 内 容 資 料 表記・表現	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> ○方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「この地図帳の使い方」ページが巻頭に設けられており、読図の基礎的な技能を身に付けられるようになっている。 ○地理的分野・歴史的分野ともに、当該ページに関わる写真資料、文章資料、絵などを掲載し、他分野間の横断的な知識の定着に工夫が見られる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> ○地図の着眼点を示した「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や、言語活動を促す「やってみよう」など思考力が高められるような配慮が見られる。 ○統計をより有効に活用できるよう、上位国・上位県の数値が赤字で示されているほか、県別統計資料には地方別合計欄があり、地方どうしの比較がしやすくなっており、思考力・判断力の伸長が目指されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> ○学習上重点が置かれる中国・ヨーロッパ・北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの大鳥瞰図が設けられ、生徒の興味関心を喚起させる工夫がなされている。 <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> ○災害や環境といった今日的な課題を扱った特集ページを設けたり、北方領土や竹島や尖閣諸島といった実社会における領土問題を写真付きで基本図ページに掲載するなど、実践的な地理的認識を養う配慮が見られる。 <p>○学習上重点が置かれる中国、ヨーロッパ、北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの大鳥瞰図があり、地域の特色を視覚的にとらえられるよう工夫がなされている。</p> <p>○日本の拡大図（地方別地図）は、八地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性がある生徒に配慮された色使い（原色系や蛍光色に近い明るい色）で描かれている。 ○基本図は等高段彩で表現され、地名や記号がはっきり目立つように工夫されている。</p>
総 括	○地図の着眼点を示した「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や、言語活動を促す「やってみよう」など思考力が高められるような配慮が見られる。 ○統計をより有効に活用できるよう、上位国・上位県の数値が赤字で示されているなど、データどうしの比較がしやすくなっており、思考力・判断力の伸長が目指されている。